

Allegro assai

Baritone Solo

B.

Freude, Freude, Freude, schöner

Allegro assai

Ob.

Clar. dolce

Fag.

Cor.

Freude!

Freude!

Ob. I

pp

Clar. I

Aichi pizz.

Aichi pizz.

Aichi pizz.

Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E -

Wir be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Himm - li - sche, dein Hei - lig - tum!

D - ne - au - ber bin - den wie - dor, was die Mo - de

streng ge - teilt; al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

Ob.

Clar.

Legni

cresc.

第九

The musical score consists of six staves of music for orchestra and choir. The vocal parts include Baritone Solo, B., Ob. I, Clar. I, Ob. II, Clar. II, and Cor. The instrumental parts include Ob., Clar. dolce, Fag., and Cor. The vocal parts sing the famous 'Ode to Joy' lyrics in German. The score is set against a background of a large crowd of people.



春日井
KASUGAI CITY

2010春日井市民第九演奏会

とき 2010.12.5 SUN 午後3時開演 春日井市民会館

主催 春日井市、春日井市教育委員会、(財)かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団

後援 中部大学、中日新聞社

ごあいさつ



春日井市長 伊藤 太

本日は、「2010春日井市民第九演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本演奏会は、公募による市民合唱団と市内の演奏家を中心に結成されたオーケストラによる市民手作りの演奏会として、毎年皆様に親しまれています。

文化芸術の一層の振興を目指しております本市にとりまして、音楽文化の裾野に広がりをもたらす本演奏会を、18年の長きにわたり開催できておりますことは大変意義深く、春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団をはじめとする関係の皆様方のご尽力に改めて感謝と敬意を表す次第であります。

今回は、ドイツのホフ歌劇場で楽長として活躍されておられるロレンツ・クリストフ・アイヒナー氏を指揮者にお招きし、ソリストには大田亮子氏をはじめ、韓国から3名の実力派の方々をお迎えし、演奏会を彩っていただきます。

年の瀬を迎え、この一年を振り返るとともに、また、新たなる年が皆様にとって輝かしい年であることを祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

それでは、師走の午後のひととき、演奏会をどうぞごゆっくりご鑑賞ください。



2010春日井市民第九演奏会実行委員会会長
中部大学 学監 三浦 昌夫

本年も、恒例の「春日井市民第九演奏会」にみなさまおそろいでおいでいただきありがとうございます。

毎年、春日井市の「第九」を楽しみになさっている市民のみなさまに、今年も最高の演奏をお聴かせするため、強力で魅力的なキャストをそろえました。

まず、豪華なソリストと本格的なベートーベン指揮者です。

ソリストは、韓国オペラ界の花形、ソプラノのチョ・ヒョネさん、テノールのイー・ウォン・ヨンさん、バスのキム・ミン・スクさんに、昨年好評でしたアルトの大田亮子さんです。

指揮者は、ザルツブルク生まれで、ドイツのホフ歌劇場の楽長で首席指揮者のロレンツ・クリストフ・アイヒナーさんです。

そして、おなじみのベテラン市民オーケストラ「春日井市交響楽団」と熱意と樂興にあふれた「春日井市民第九合唱団」です。

きっと、ご満足いただけるものと存じます。ベートーベンの「第九」は、「時代が切り裂いた友情を、再び結びつけるのが愛だ」と歌います。

一年の終わりに、また、この「春日井市民第九演奏会」で、多くのみなさまと感動の瞬間をご一緒できることは、とても幸せなことです。

フィナーレの全員合唱のアンコール「春日井贊歌」を、声を合わせて歌いましょう。

来年もまた、よき年でありますように。

プログラム

Program

ルートヴィヒ・ファン・ベートーベン作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱つき」 Symphony No.9 in d-minor op.125 "Choral"

第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ, ウン ポコ マエストーネ
1mov. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

第2楽章 モルト ヴィヴアーチェ
2mov. Molto vivace

第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ
3mov. Adagio molt e cantabile

第4楽章 フィナーレ, プレスト-アレグロ アッサイ-レシタティーヴォ-アレグロ アッサイ
4mov. Finale,Presto - Allegro assai - Rezitativo - Allegro assai

指揮者
Conductor

ロレンツ・クリストフ・アイヒナー
Lorenz C. Aichner



ソプラノ Soprano

チョ・ヒョネ
Cho Hyu Ae

テノール Tenor

イー・ウォン・ヨン
Lee won yon

アルト Alto

大田 亮子
Ohta Akiko

バス Bass

キム・ミン・スク
Kim Min Suk

Music director

音楽監督 都築 正道
Tudzuki Masamichi

Chorus master

合唱指揮 滝沢 博
Takizawa Hiroshi

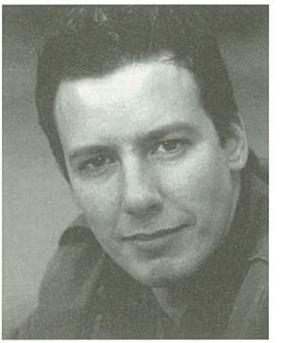


管弦楽 春日井市交響楽団
KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



合唱 春日井市民第九合唱団
KASUGAI CIVIL CHORUS OF THE 9TH SYMPHONY

出演者紹介



指揮 ロレンツ・クリストフ・アイヒナー *Lorenz C. Aichner*

1977年、モーツアルトと同じくザツルブルクで生まれました。6歳のときに同地のモーツアルテウム(モーツアルト音楽院)でピアノを習い始め、10歳のとき、「若き音楽コンクール」で優勝。その後、ウィーンの「音楽演劇大学」(Musik und darstellende Kunst)に学び、指揮法をレオポルド・ハーガーに師事しました。在学中に、ニコライの「ウィンザーの陽気な女房たち」(ウィーンのシェーンブルン宮殿)やメノッティの「電話」(韓国)など、各地のオペラ劇場で指揮をしました。2004年のシーズンから、エルフト市(ドイツのチューリンゲンの首都)の音楽監督を務め、豊かな情感と格調高い演奏で人気を博しました。2008年から、ドイツのホフ(バーヴァリア地方の北東でチェコの国境に接している古い都市)のホフ歌劇劇場の楽長で首席指揮者(Kapellmeister und stellvertretender Musikdirektor)に就任しました。これまでに「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「ベルトーケの「青髭公の城」などたくさんの名作オペラを指揮しています。今年(2010年)のシーズンにR.バウムガルトナーの「ホフマンの世界」の世界初演を行ないます。初来日ですが、彼のホームページに書かれているように、「春日井市民第九演奏会」も今年の彼の主要な「レパートリー」(主要演奏曲目)に入っています、今回の春日井公演を楽しみにしています。



ソプラノ
チョ・ヒョネ
Cho Hyu Ae

韓国ヨンセ大学を優秀な成績で卒業。イタリアのミラノ・ヴェルディ・コンセルヴァトリアールを満場一致の好成績で卒業。たくさんのディプロマを取得。ジャコモ・カラヤのマスタークラスを修了。ブッセート国際コンクールで優勝。リッカルド・サンドナ国際コンクールで準優勝。大阪では知事賞を、フレーチャではブッチニ賞を受賞して、多くのコンクールで常に最高位での入賞を果たしています。レパートリーは、モーツアルトからヴェルディやブッチニまで幅広く、特に蝶々夫人を得意としています。ブッチニ・フェスティバルなど、海外のオペラ公演に数多く出演しています。韓国でオーディションを受けて『春日井第九』のため来日。



テノール
イー・ウォン・ヨン
Lee won yon

韓国の圓光大学校を卒業。イタリアのペスカレーゼ音楽院(Pescara)で学びました。その間、名教師で知られるブルーノ・パリオーニ、カタルディ・タツオーニ、ヴィンツエンツォ・サンソなどに師事しました。アルカモ国際コンクールやオッタヴィアーノ・ツチーノ国際コンクールやアネモス国際コンクールで優勝。レパートリーは多く、ほんどのテノールの主役を歌っています。『魔笛』のタミー、『コシ・ファン・トゥッテ』のフェランド、『ボエーム』のロドルフォ、『ラヌメルモールのルチア』のエドガルドなど、甘い声で数多くの名作アリアを歌い、韓国を代表するテノール歌手として高い人気をえています。アメリカやイタリアの歌劇場に招待されて、活躍の場を増やしています。韓国でオーディションを受けて『春日井第九』のため来日。



アルト
大田 亮子
Ohta Akiko

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業 同大学院音楽研究科声楽専攻修了共に首席修了。在学中より、定期演奏会・卒業演奏会・第24・26回中部読売新人演奏会・第72回読売新人演奏会・ヘンデル「メサイヤ」メンデルスゾーン「エリア」・ベートーヴェン「第九」をはじめ、数多くの演奏会に出演。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学・一般の部名古屋大会にて第一位。及び全国大会出場。大学院修了後、イタリア・ミラノに留学し、国際声楽アカデミー“A・マントヴァーニ”に於いて、K・ロローヴァ女史の下、発声法を学びながら、イタリア・ミラノを中心に演奏活動を行う。ミラノでは、クザーニ宮殿でのコンサートに毎月レギュラー出演する他、シチリアにてブーマ氏らとコンサートツアーを行う。第40回イタリア声楽コンクール シエナ部門入選。第150回日演連推薦新人演奏会に出演し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共に演じます。現在は、イタリアと日本を往復しながら演奏活動中。水谷俊二、長野真理子、M.レアーレ、K.ロローヴァの各氏に師事。



バス
キム・ミン・スク
Kim Min Suk

韓国のソングシル大学の数学科卒業。ソウル大学と同大学院を修了。イタリアのジェノヴァのロイヤルアカデミーでディプロマを取得しました。ミラノでロベルト・ネグリなど著名なマエストロに師事。韓国へ帰国して第一線のオペラ歌手として、数々のバスの持ち役を歌っています。レパートリーは、韓国国立オペラで『ボエーム』に出演、デジュン・アーツセンターで『ドン・ジョヴァンニ』のタイトル・ロール(主役のドン・ジョヴァンニ)を歌い、『リゴレット』では個性的なスバラフチーレを歌いました。ソウルのメトロポリタンオペラでは『魔笛』のザラストラ、ゴヤン文化財団では『アイーダ』のエジプト王、インチョン国際オペラでは『アンドレア・シェニエ』のルーシエなどで、いま、韓国で人気のオペラ歌手です。韓国でオーディションを受けて『春日井第九』のため来日。



音楽監督
都築 正道

中部大学現代教育学部教授。中部大学附属三浦記念図書館長。文学博士。専門は美学・芸術学・音楽学。春日井市交響楽団音楽監督。愛環音楽連盟理事長。朝日新聞音楽評担当。豊田市文化振興計画策定委員会委員長。豊田市文化芸術振興委員会委員長。豊田市芸術文化推進事業審査委員会委員長。名古屋ナボリ協会会长。名古屋オペラサロン主宰者。NHK名古屋文化センター講師。名古屋モーツアルト協会顧問。カセラ国際ピアノコンクール副審査委員長(ナボリ)。主著:「樂劇:音と言葉の美学」(音楽之友社)「あくびなしの音楽講座:トスカ」(同)



客演コンサートマスター
平光 真彌

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2005年、同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール大学生の部全国大会第3位。2007年、及び2010年小瀬沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2000年から岐阜管弦楽団、2004年から愛知室内オーケストラ、2008年からオーケストラ・アカデミカのコンサートマスター。Mens Laメンバー。



合唱指揮
滝沢 博

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。声楽を石津憲一、西義一、河野克典の各氏に師事。1994年オペラ「領事」でデビューを果たす。以後、モーツアルト3大オペラをはじめ邦人現代作品まで多数のオペラに出演し、国内外の演出家や演奏家と舞台を踏み研鑽を積む。また、歌曲のリサイタル、合唱団指導、演奏会企画等積極的に手がけ、中部地方を中心に活動中。混声合唱団「キャロル」「sacra」、女声合唱団「凛」「千草会」、歌って健康「歌おう虹」(春日井・小牧・瀬戸・他)、春日井市民第九合唱団、小牧市民合唱団(第九)合唱指揮者。小牧市民音楽祭「メサイア」音楽監督。滝沢音楽教室主宰。愛知県長久手町在住。

発声指導 江端 智哉 永友 弘子
ピアノ伴奏(合唱団) 竹内 理恵 松永祐未子
森 貴美子 原田 綾子



オーケストラ 春日井交響楽団

市民オケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カボ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カボ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる45名。私たちにとって、最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのため、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。

(団長・稻垣 徹)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年12月の春日井市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に作られ、今年で18回目の演奏会を迎えております。毎年公募による新しい方々を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は60歳になろうかと、やや高いのですが、数年前から、中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、今年から、新しく滝沢博先生を指導者に迎え、気持ちも新たに練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音にも苦労しておりますが、ベートーヴェンの第九のテーマである、「人間はみな兄弟である」という歓びを我々自身も感じながら、演奏会においてくださいと精一杯歌います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(団長・須藤章夫)



「第九」初演時のベートーヴェン

音楽と楽の音

春日井市交響楽団音楽監督 都築 正道

難しい第九 私たちは恒例になっているので、もう、ベートーヴェンの「第九」なら大丈夫だと思っていました。でも、本当は、なんど演奏しても上手くいかないところがあるのです。もちろん、技術的な難しさが真っ先にあります。プロがやっても、なかなか上手く奏けないところがあります。第4楽章の冒頭のレシタチーヴォはとても難しいので、ワーグナーがドレスデンで初演したときには、「チェロとコントラバスだけ何日も特訓した」といっています。合唱も、高い声でいつまでも歌い続けなければなりません。天から聞こえてくるような、弱くて、美しい声を出さなければなりません。ソリストの四重唱など、どんなCDを聴いてみても、アンサンブルに満足するものはありません。

正確に伝える それに、技術以上に、音楽的な難しさがたっぷりあります。以前のプログラムの「第九のお話:この世で見つけた幸せ」で述べましたが、「第九」はベートーヴェンの最後の作品であり、彼が私たちに残した「遺言」でもあるのです。そうであるならば、ベートーヴェンの遺志を正しく理解して、正しく伝えることが、「第九」の演奏者にとって、もっとも重要なことです。それに、私たちは常に楽観的ですが、芸術はだれにでも分かるものではないのです。分かる人だけに分かってもらえばいい、分からぬ人は分かなくていいと言ふ、冷淡なところが芸術にはあ

るのです。「第九」を理解し、喜び楽しむことが出来るのは、選ばれた人たちだけです。それは、演奏者も聴衆も同じです。でも、まず、演奏する者が全き理解者とならなくてはなりません。

楽音から音楽へ 「音楽とはなんですか」と訊かれて、「音を楽しむことです」と演奏者が答えるなら、それは間違います。「音(tones)を楽しむ(enjoy)」なら「音楽」ではなく「楽音」([We] enjoy the tones)でなければならないからです。では、「音楽」とはなんでしょうか。文字通り、「音が楽しむ(Tones enjoy)こと」です。私たち演奏家が楽しむのではなく、音が楽しむのです。では、音はなにを楽しむのでしょうか。もちろん、「音が音そのものであることを楽しむ」(Tones enjoy themselves)のです。これが、「音楽」です。すなわち、「音楽」が「音楽」であるかどうかは、音が本来の音そのものであり、本来の音以外のなにものでもないことを、音自身が満足しているかどうかを聞くことがあります。英語ではこのことを、「サウンド・オブ・ミュージック」(音の音・音の調べ)といいます。音楽とは、元々、「音の存在そのもの」を問う「音の存在論」なのです。音楽は存在の家であり、その家には音という存在者が住むのです。

ムジチーレン 私たちは、私たちが演奏する音そのものが、自らが音であることを十分に楽しんでいるかどうか常に問うべきです。音楽とは、決して演奏家自身が楽しむものではありません。演奏家の出す音そのものが、自己の存在を楽しんでいるかどうかが、音楽にとって重要であるからです。音は、目に見えなくとも、いや、目に見えないがゆえに、たえず「存在すること」を求めるのです。その音に「存在」を与えるのは、私たち「音楽する」演奏家です。ドイツ語には、「音楽する」(musizieren)という動詞があります。どの一音を演奏するときにも、「果たして音が音で在ることを喜んでいるだろうか」と絶えず謙虚になることが、「ムジチーレン」の真義でしょう。音程が正しく、ハーモニーも澄んでいて、リズムも崩れていはず正確で、情緒と知性があって、新鮮で、生き生きとして、全体の姿が美しい—これが音楽です。

楽の音の世界 では、みなさまは、本日の「春日井市民第九演奏会」になにを聞くのでしょうか。もちろん、「音が楽しむ」のを聞くのです。「楽しんでいる音」を聞くのです。清水に美しい魚が泳ぐのを見るのです。真っ青な天空に飛ぶ鳥を見るのです。厳しくそびえ立つ山を登るのです。山頂から眼下に広がる未来を楽しむのです。蝶となって花園で遊ぶのです。愛する人たちと生きる喜びを共にするのです。このどこにも、「音」はあります。まさに、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」で歌われる "The hills are alive with the sound of music" (どの丘も楽の音で満ちている)世界がそこにあるのです。ベートーヴェンが彼の「第九」で私たちに伝えたかった最大のメッセージは、「音が音で在ることを楽しむ世界の存在」、すなわち、「音楽を造る人がいて、音楽を聴く人がいる世界の存在」

を信じることです。聴衆と合唱団とオーケストラと歌手と舞台関係者と実行委員会と市長と議員と行政と劇場とプレスとTVと花屋と印刷屋とタクシーとアルバイトとお弁当屋さんなどなどの市民が一堂に会するために、作曲家であるベートーヴェンは「第九」を書いたのです。



ケルントナートール(脇)劇場
(「第九」初演の地)

作曲年代	1817年-1824年2月
初演	1824年5月7日 ケルントナートール劇場
献呈	プロショウフリートリヒ・ヴィルヘルム3世
出版	1826年6月 マインツ市ショット社。 総譜・管弦楽合唱パート譜・終樂章ピアノ版
総譜出版	f1. ob. cl. fg. (第4楽章でピッコロとコントラ・ファゴットが加わる) trp. (第2楽章と第4楽章にトロンボン3が加わる) 以上各2 hrn. 4 . tim. (第4楽章にはトライアングルとシンバルと大太鼓が加わる) 弦5部。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの各ソロと混声合唱。
楽器編成	第1楽章 快速に・ただし控え目に・そしてやや威厳をもって・二短調・2/4拍子(14分)
第2楽章	きわめて早く活発に 二短調・3/4拍子・スケルツォ(11分)
第3楽章	ごくゆっくりと歌うように・変口長調・4/4拍子・変奏曲(16分)
第4楽章	とても急速に 二短調・3/4拍子(28分) [全1時間09分]

第4楽章の解説

第4楽章は次の18の部分に分かれています。いよいよ交響曲に声楽(ソロと合唱)が登場します。

1. 「序奏」=前3楽章の回帰とても急速に)二短調・3/4 4拍子(開始小節数: 1)
2. 「喜びの歌」: オーケストラによる主題の呈示(は

- なはだ速く)二長調・4/4拍子(92)
3. 「ベートーヴェンによるマニフェスト」(とても急速に)二短調・3/4拍子(208)
バリトン・ソロ(レシタティーヴ)
O Freunde, nicht diese Tone!
おお、友人たちよ、このような調べではない!
Sondern lasst uns angenehmere anstimmen, und freudenvollere!
もっと楽しく喜びに溢れた調べを歌おう。
 4. 「喜びの歌」: 声楽による主題の呈示(はなはだ早く)二長調・4/4拍子(237)
バリトン・ソロ
Freude!
合唱(バス)
Freude!
バリトン・ソロ
Freude!
合唱(バス)
Freude!
バリトン・ソロ
Freude!
合唱(バス)
Freude!
バリトン・ソロ
Freude, schöner Götterfunken,
喜びよ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
至福の園の娘よ、
Wir betreten feuertrunken,
われらは炎に酔いしれて、
Himmlische, dein Heiligtum.
天上のものよ、きみの聖所に歩み入る。
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ、
Alle Menschen werden Brüder,
きみのやさしい翼の休むところ、
Wo dein sanfter Flügel weilt.
すべての人が兄弟となる。
合唱(アルト、テナー、バス)
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ、
Alle Menschen werden Brüder,
きみのやさしい翼の休むところ、
Wo dein sanfter Flügel weilt.
すべての人が兄弟となる。(間奏・4小節)
 5. [第1変奏]=4重唱 二長調・4/4拍子(268)
3重唱(アルト、テナー、バリトン)
Wem der große Wurf gelungen,
一人の友の友となる
Eines Freundes Freund zu sein,
大きな幸に恵まれた者、
4重唱
Wer ein holdes Weib errungen,
やさしい女性をかち得た者は、
Mische seinen Jubel ein!

声を合わせて歓呼せよ!
Ja— wer auch nur eine Seele
そうだ—ただ一つの魂をでも
Sein nennt auf dem Erdenrund!
この地上で自分のものと呼べる者は!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
それをなし得なかつた者は、
Weinend sich aus diesem Bund!
泣きながらこのまどいから消え去るがいい!

合 唱

Ja— wer auch nur eine Seele
そうだ—ただ一つの魂をでも
Sein nennt auf dem Erdenrund!
この地上で自分のものと呼べる者は!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
それをなし得なかつた者は、
Weinend sich aus diesem Bund!
泣きながらこのまどいから消え去るがいい!

6. [第2変奏]=4重唱 二長調・4/4拍子 (297)

2重唱 (テナー、バリトン)
Freude trinken alle Wesen
喜びを、万物は
An den Brüsten der Natur;
自然の乳房から飲み、

Alle Guten, alle Bösen
善きものも悪しきものも、みな、喜びの
Folgen ihrer Rosenspur.
ばらの道を追い求めてゆく。

7. [第3変奏] (305)

4重唱
Küsse gab sie uns und Reben,
喜びは、くちづけとぶどう酒と、
Einen Freund, geprüft im Tod;
死の試練を経た友をわれらに授けた。
Wollust ward dem Wurm gegeben,
快楽は、虫けらに与えられ、
Und der Cherub steht vor Gott.
神の前に立つの、智天使だ。

8. [第4変奏] (313)

合 唱
Küsse gab sie uns und Reben,
喜びは、くちづけとぶどう酒と、
Einen Freund, geprüft im Tod;
死の試練を経た友をわれらに授けた。
Wollust ward dem Wurm gegeben,
快楽は、虫けらに与えられ、
Und der Cherub steht vor Gott.
神の前に立つの、智天使だ。
Und der Cherub steht vor Gott.
神の前に立つの、智天使だ。
steht vor Gott.
神の前に立つ。
vor Gott.
神の前に。

9. [第5変奏] (とても快速に、活発に、行進曲風に)
変口長調・6/8拍子 (331)
オーケストラだけによるトルコ行進曲
10. [第6変奏]=テナー・ソロと男声合唱による行進曲
(375)
テナー・ソロ
Froh,
行け、
Froh, wie seine Sonnen fliegen
星々が天空の壮麗な平原を
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
飛翔してゆくごとく、朗らかに、
Laufet, Brüder, eure Bahn,
兄弟たちよ、きみたちの道を進め、
Freudig, wie ein Held zum Siegen.
喜び勇んで勝利に向かう英雄のごとく。
テナー・ソロと男声合唱 (テナー1、テナー2、
バス)
Laufet, Brüder, eure Bahn,
兄弟たちよ、きみたちの道を進め、
Freudig, wie ein Held zum Siegen.
喜び勇んで勝利に向かう英雄のごとく。
11. 「喜びの歌」=再現部 二長調・6/8拍子 (543)
合 唱
Freude, schöner Götterfunken,
喜びよ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
至福の園の娘よ、
Wir betreten feuertrunken,
われらは炎に酔いしれて、
Himmlische, dein Heiligtum.
天上のものよ、きみの聖所に歩み入る。
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ、
Alle Menschen werden Brüder,
すべての人が兄弟となる。
12. 「抱擁の主題」=呈示 (やや遅く、威厳をもって)
ト長調・3/2拍子 (595)
男声合唱
Seid umschlungen, Millionen!
抱き合え、百千万の人々よ!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
このくちづけを全世界に!
- 全合唱
Seid umschlungen, Millionen!
抱き合え、百千万の人々よ!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
このくちづけを全世界に!
- 男声合唱
Brüder — überm Sternenzelt
兄弟たちよーあの星空の上には

- Muß ein lieber Vater wohnen.
一人の慈父が住み給うに違いないのだ。
(へ長調へ転調します)
- 全合唱
Brüder — überm Sternenzelt
兄弟たちよーあの星空の上には
Muß ein lieber Vater wohnen.
一人の慈父が住み給うに違いないのだ。
13. 「懐疑の主題」(ゆるやかに、急がないで、敬虔に)
ト短調。3/2拍子。(627)
合 唱
Ihr stürzt nieder, Millionen?
ひざまずくか、きみたちは、百千万の人々よ。
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
創造主を予感するか、世界よ。
Such' ihn überm Sternenzelt,
星空の上に、神を求めよ、
Über Sternen muß er wohnen.
星々の上に、神は住み給うに違いないのだ。
Über Sternen muß er wohnen.
星々の上に、神は住み給うに違いないのだ。
14. 「2重フーガ」(快速に激しく、常に音をはっきり
出して) 二長調・6/4拍子 (654)
Seid umschlungen, Millionen!
抱き合え、百千万の人々よ!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
このくちづけを全世界に!
Freude, schöner Götterfunken,
喜びよ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
至福の園の娘よ、
Wir betreten feuertrunken,
われらは炎に酔いしれて、
Himmlische, dein Heiligtum.
天上のものよ、きみの聖所に歩み入る。
15. 「懐疑の主題」=変奏 (730)
合 唱 (バス)
Ihr stürzt nieder, Millionen?
ひざまずくか、きみたちは、百千万の人々よ。
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
創造主を予感するか、世界よ。
- Such' ihn überm Sternenzelt,
星空の上に、神を求めよ、
Such' ihn überm Sternenzelt,
星空の上に、神を求めよ、
Brüder
兄弟たちよ
Brüder — überm Sternenzelt
兄弟たちよーあの星空の上には
Muß ein lieber Vater wohnen.
一人の慈父が住み給うに違いないのだ。
16. [第7変奏]=4重唱 (快速に、ただし控え目に) 二
長調・2/2拍子 (763)

- 4重唱
Freude, Tochter aus Elysium,
喜びよ、至福の園の娘よ、
Tochter aus Elysium,
至福の園の娘よ、
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ、
- 4重唱と合唱
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ
Alle Menschen.
すべての人々を。
- 合 唱
Alle Menschen werden Brüder,
すべての人が兄弟となる。
Wo dein sanfter Flügel weilt.
きみのやさしい翼の休むところに。
17. [第8変奏] (814)
合 唱
Deine Zauber binden wieder,
きみの魔力は
Was die Mode streng geteilt;
流俗の厳しく分離したものを、再び結び合わせ、
Alle Menschen werden Brüder,
すべての人が兄弟となる。
- 4重唱
Alle Menschen werden Brüder,
すべての人が兄弟となる。
Wo dein sanfter Flügel weilt.
きみのやさしい翼の休むところに。
18. 「コーダ」(きわめて早く) 二長調・2/2拍子 (843)
合 唱
Seid umschlungen, Millionen!
抱き合え、百千万の人々よ!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
このくちづけを全世界に!
Brüder — überm Sternenzelt
兄弟たちよーあの星空の上には
Muß ein lieber Vater wohnen.
一人の慈父が住み給うに違いないのだ。
Seid umschlungen, Millionen!
抱き合え、百千万の人々よ!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
このくちづけを全世界に!
Freude, schöner Götterfunken,
喜びよ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
至福の園の娘よ、
Freude, schöner Götterfunken,
喜びよ、美しい神々の火花よ、

みんなで歌おう、春日井贊歌を……

＜歓喜の歌＞

作詞・なかにし礼

1. あいこそかんきにみち
びくひ一かりさえぎる
くなんをこえてすすま
んかんきのいたーだき
ふみーしめたときわーれ
らはきょうだいせかいはひーと
つかんきのいたーだきふみー
しめたときわーれらはきょう
だいせかいはひーとつ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気高けだかき乙女かんこをかち得たものよ
手をとり歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ